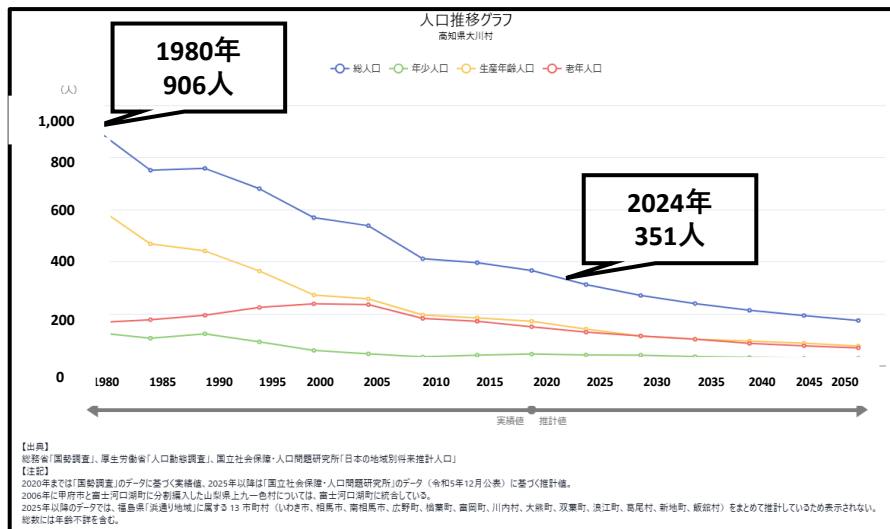


令和6年度高知県地域経済動向調査（人口調査）

①年齢別人口推移グラフ（大川村）



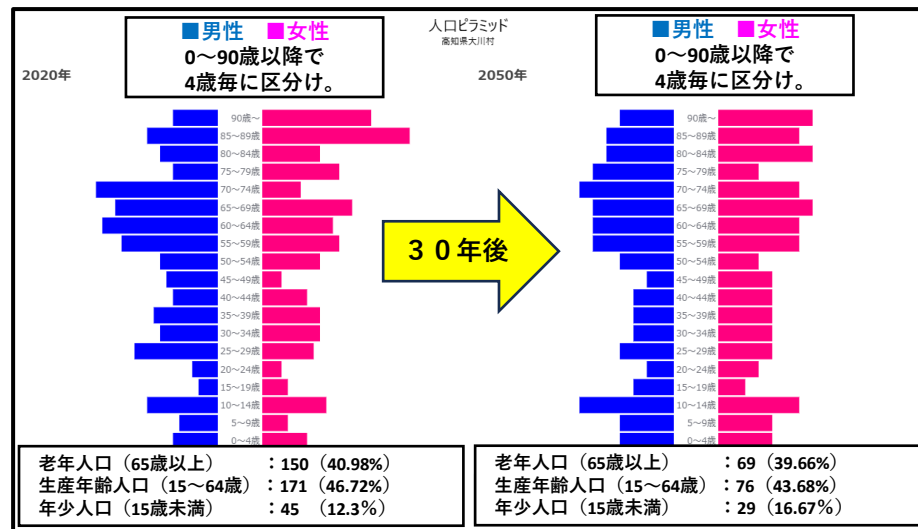
* 総人口：全体の人口
年少人口：15歳未満
生産年齢人口：15歳以上～65歳未満
老年人口：65歳以上

2024年の大川村総人口は351人であり、統計当初である1980年の906人から比べると、61%の減少となる。

年齢別では、年少・生産年齢人口の減少と老年人口増加が目立ち、2020年以降は老年人口の減少も始まっており、全区分での人口減少傾向が見られる。

出典：「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

②人口ピラミッド（大川村）



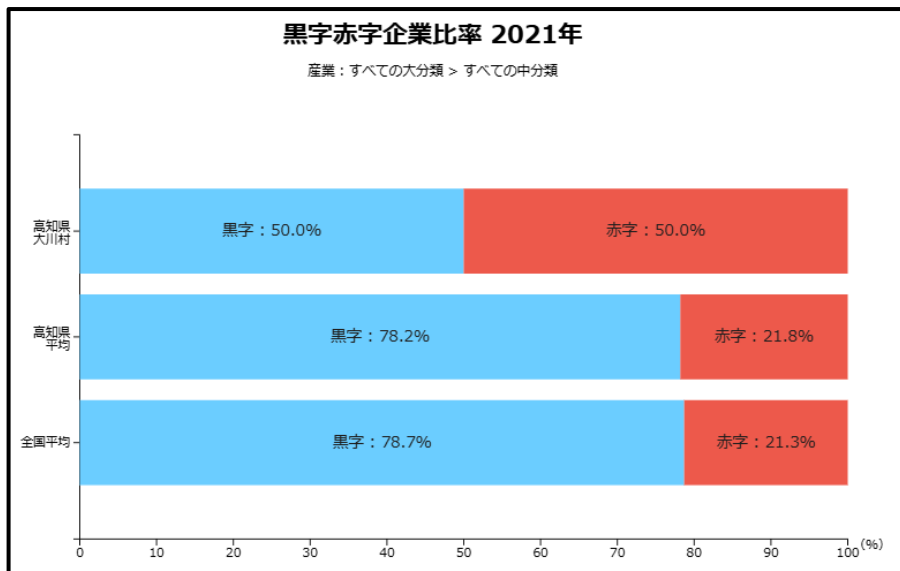
* 総人口：全体の人口
年少人口：15歳未満
生産年齢人口：15歳以上～65歳未満
老年人口：65歳以上

2020年時点と将来(2050年)の年齢別人口構成を示しており、30年間で老年人口上昇と生産年齢及び年少人口減少が続き、老年人口が生産年齢を上回る高齢化社会が、2050年において更に拡大することが予測される。

出典：「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

令和6年度高知県地域経済動向調査（企業活動マップ）

①黒字赤字企業比率（2021年度 大川村）



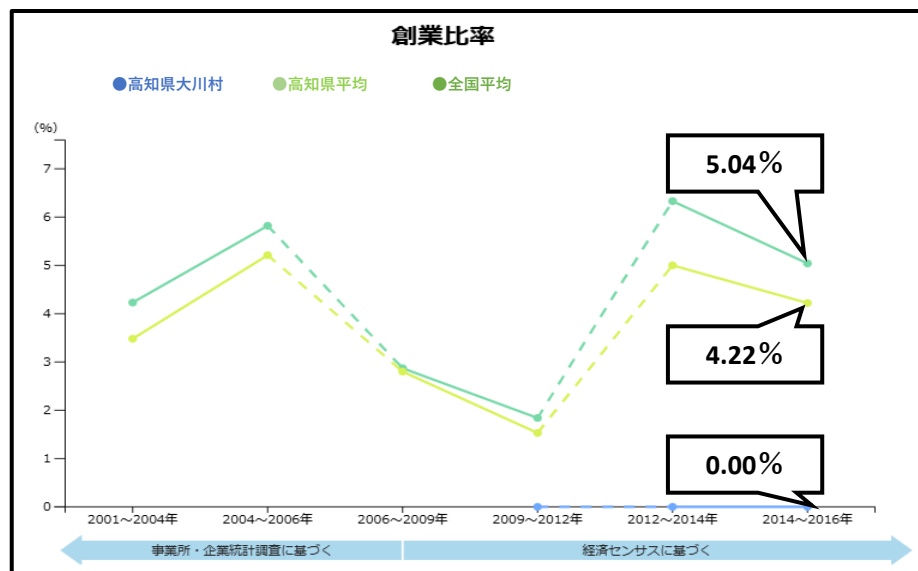
青色グラフ：地域内企業の黒字率
赤色グラフ：地域内企業の赤字率

地域内での法人を対象とした、「経済センサス・活動調査」により、黒字赤字企業を表記したグラフとなる。

大川村は法人に限り、全国及び高知県の黒字平均より黒字率が低い地域となる。

出典：総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」加工

②創業比率（2014～2016年度 大川村）



青グラフ：大川村創業率
薄緑グラフ：高知県平均創業率
緑グラフ：全国平均創業率

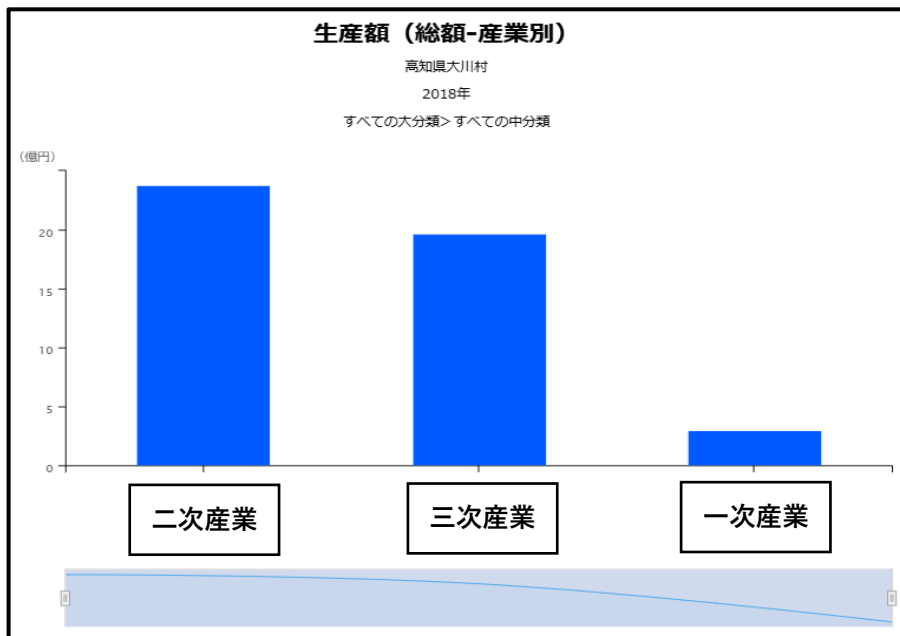
全国及び高知県と比較して、大川村の創業率を表したグラフとなる。大川村では、計測当初の2001年から創業実績が無く、創業率は0%となっている。

2016年以降も創業実績は無い状態が続いている。

出典：総務省「事務所・起業総括調査」、総務省「経済センサス・基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」

令和6年度高知県地域経済動向調査（地域経済循環）

①生産分析 生産額（2018年度 大川村）



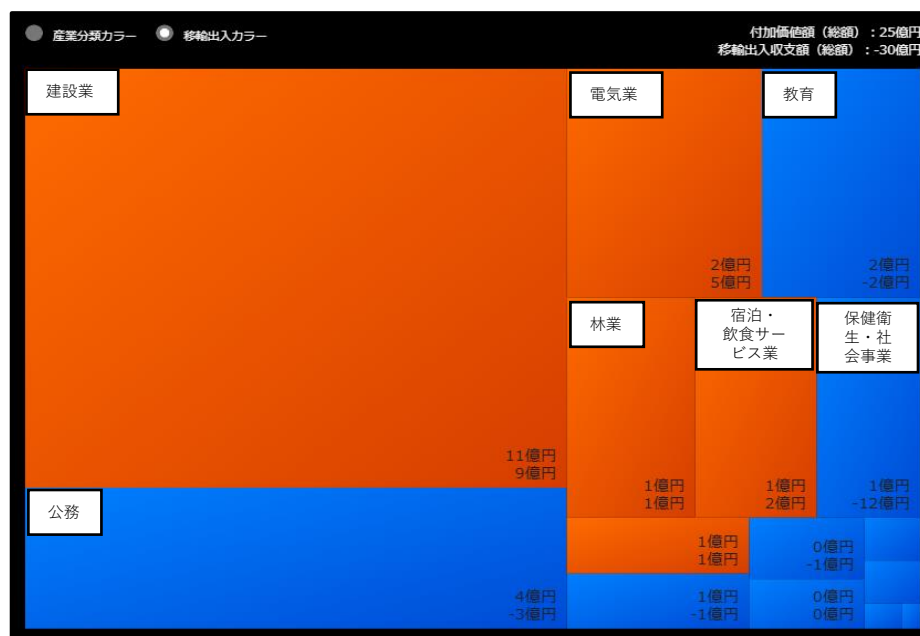
一次産業：農業・酪農畜産・林業・漁業等の産業
 二次産業：鉱業・建築業・製造業等の産業
 三次産業：商業・サービス業・外食産業等その他産業

2018年度の大川村における各産業別の生産額を示したグラフとなる。

村内では、建設業を含めた2次産業の割合が多く、生産額合計の内、約50%を占めている。

出典：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」
 (株式会社価値総合研究所 (日本政策投資銀行グループ)
 受託作成

②生産分析 輸出入（2018年度 大川村）



青色グラフ：地域外から調達している輸入超過
 赤色グラフ：地域外から稼いでいる輸出超過

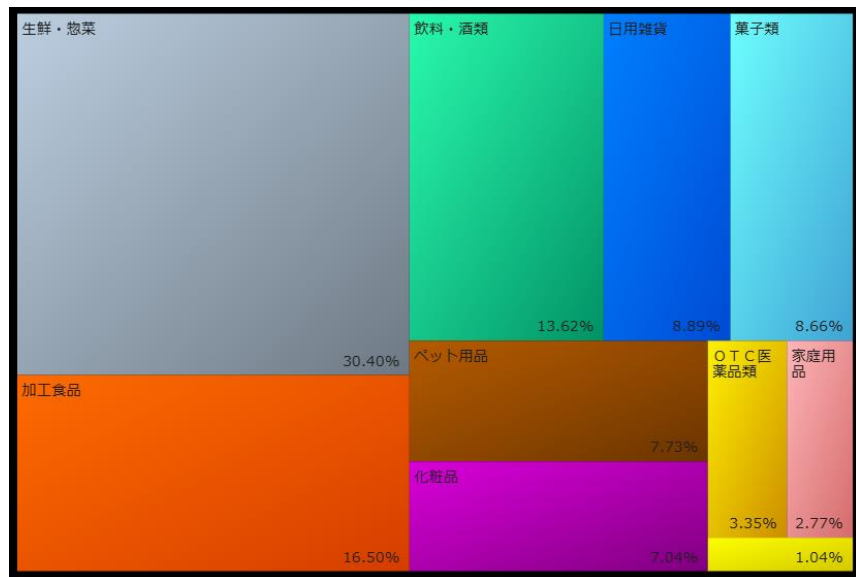
大川村の経済活動を生産面から分析することで、地域経済への貢献度を把握し、輸出入環境の依存度を確認することが出来る。

村内では、建設業・電気業が上位規模となっており、輸出超過でプラスの傾向となるが、他産業での輸入超過が響き、全体ではマイナスとなっている。

出典：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」
 (株式会社価値総合研究所 (日本政策投資銀行グループ)
 受託作成

令和6年度高知県地域経済動向調査（消費マップ）

①消費の傾向（2022年度）

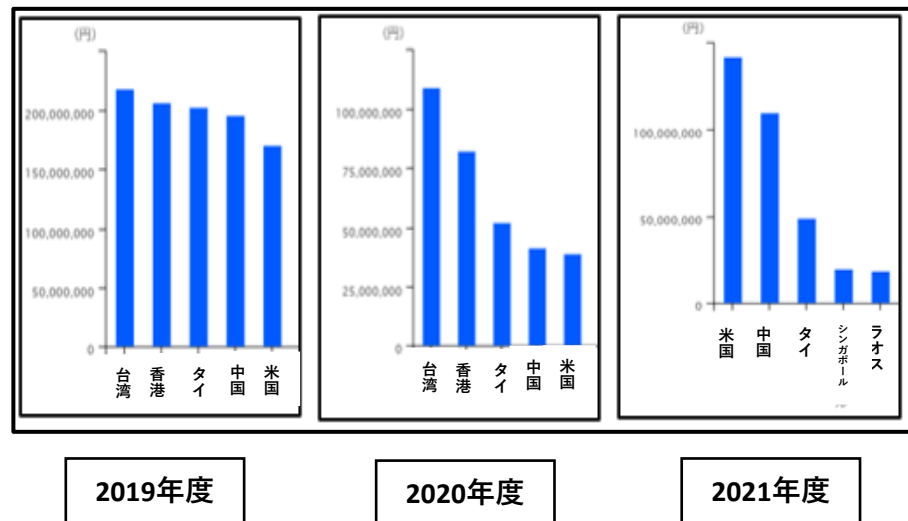


高知県全体での物品・サービス購入金額の分類表を示す。統計開始より割合の変化は少なく、日常生活に必要な生鮮・加工食品等の割合が高いことが特徴として挙げられる。

近年はペット用品の割合が少しずつ上昇しており、県内消費における重要性が増している。

出典：True Date by 株式会社True Data

②外国人消費の比較（2019～2021年度）



高知県への外国人訪問客が使用したクレジットカード情報から、使用金額の上位5ヶ国を3年分表示したグラフとなる。

計測時期がコロナ化であるため、1位の変動が多いが、アメリカ、中国、タイは毎年共通で、訪問数及び消費金額の上位を占めている。

出典：総務省「事業所・起業総括調査」、総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」